



総社宮

平成十七年正月社報

新年のご挨拶

宮司 松岡重彰

輝かしき皇紀二六六五年（平成十七年）の新春を迎え、聖寿の万歳、皇室の弥栄と国家の隆昌、御氏子の皆様の御健勝を祈念し、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は総社氏子町内におきましても悲しい出来事、目を覆う様な災害と、わざわいの多き年では御座いました。年末より降りしきりました雪で、昨年までの暗い出来事を真っ白に包み、新たな年の幕開けになった事と思えます。

今年も西暦は酉年です。酉、即ちニワトリは古来より人に近い所にいる鳥で、夜明けを告げる貴重な鳥でした。今まさに暗い時代、話題に別れを告げ、新しき輝かしき年の夜明けを告げる時の様に感じております。

氏子町内の皆様におかれましても、幸多き一年となります様にお祈り申し上げます。

本年より各お祭りを、手紙にて細かく氏子町内の皆様方にお知らせしようと考えておりますので、その際にはお誘い合わせの上、御社の方へお参り下さいます様、切にお願い申し上げます。

台風二十三号の被害について

昨年、十月二十日に全国的な被害をもたらした台風二十三号により、県内各地でも主に倒木による被害が相次ぎました。古木の多く残る寺社は特に被害が大きく、一宮の中山神社などがマスコミに報道されていたのをご覧になった方も多いかと存じます。総社宮においてもいくつかの被害がありましたので報告させて頂きます。

本殿 大屋根の瓦が一枚落下

通殿 本殿と拝殿の間の建物、風に飛ばされた枝に当たり、樋が破損

瑞垣 倒木が当たり北西部が一部損壊

荒神社 倒木により屋根が破損

倉庫 風により転倒

北参道 倒木の根にコンクリートが捲り上げられ、現在も通行不可

その他、境内全域で倒木。その倒木や風に飛ばされた枝などにより、社務所や手水舎、神輿倉などの瓦が何力所か破損いたしました。

- 2 -
また、境内南方に隣接しております住宅に数本の木が倒れ込み、屋根瓦と自動車を

破損しました。表参道のサクラが倒れ、近くのブロック塀を一部破損いたしました。その他にも多くの枝葉が飛散し、近隣の皆様には多大なるご迷惑をお掛けしたのもと思います。

それでも、総代会の皆様が昨年春頃より数度に分けて、強風によつて倒れる恐れのある樹木を伐採して下さったお陰で、被害は最小限に留まつたものと思っております。

なお、台風通過の翌日より四日間と、十一月下旬までの日曜日毎に、氏子総代を始め有志の方々が集まり、倒木の伐採などの境内修復にご尽力頂きました。特に総社西の方には重機をお貸し頂き、これによつて作業が大幅にはかどつたものと思えます。此処に改めて御礼申し上げますと共に、皆様方にお知らせいたします。

樹齢百年を超す木々が倒れました事は、非常に残念でありますし、森の消えた社と

いうのは実に寂しいものです。しかし、考え方を換えれば、日当たりも良くなり、見晴らしも格別の物となりました。また逆に遠方からでも社が見える様にはないかと思えます。



本殿北西部の瑞垣
転倒した倉庫



荒神社
南方隣接住宅への倒木



新任挨拶

この度、総社宮の禰宜に任命されました、
吉田治生（よしただはるお）です。

私は大阪の出身ですが、父が津山の生まれで、縁あつて三年前に徳守神社に奉職し、
そして昨年、松岡宮司からお誘いを受けて、
総社宮に移籍する運びとなりました。

以前に徳守神社の氏子さんと話をしました時、総社宮は「名前は知っていてもどこにあるか知らない」と言う方がいらつしや
いました。本来、全国的に名が知られてい
てもおかしくないお宮であるはずなのに、
これはあまりにも寂しい事です。

いま、私一人が参りましたところで、急に
何かが変わる訳ではないでしょうが、と
りあえず、いつお参り頂いても神職の居る
お宮を目指します。お参り下さった方が気
持ちいいと感じるように、笑顔で挨拶を交
わす。まず、そこから始めようと思います。
総代の皆様のご助力を仰ぎながら、いず
れは、津山の美作総社宮は良いお宮だと、
津山の人は勿論、県内外の人々にも知って
いただけるよう、努力していこうと思つて
おります。どうか、見守りください。

祈祷の御案内

日本人は古来より人生の節目に、それまでに積み重ねてきた年を振り返り、生命の尊さを考えてきました。

私たちは家族をはじめ多くの人たちや、自分の周りのさまざまな目に見えない力に支えられて、毎日生きていくことを実感しています。日本人は、「この生命を支えてくれる「目に見えない力の働き」を「神のおかげ」と呼び、神様に感謝する心を培ってきました。

日常の神棚への祈りから始まり、お正月の初詣、五穀豊穰祈願の春祭、収穫を感謝する秋祭りなどへとつながってきたのです。

また、子供が無事生まれることを祈り、出産を喜び、七・五・三祭や成人式ではさまざまな支えによって生かされ、今日に至ったことを神に感謝してきました。

氏神に、より親しみ結びつきを増すためにも今までの例祭のお参り加えて出来るだけ氏神に御参拝頂き、祈願していただくように氏子の皆様をお願いする次第です。

節分祭のご案内

二月三日水曜日、夜五時より節分祭を執り行います。当日は朝から福豆を配っておりますので、どうぞ御参拝下さい。

厄除けの祈願は節分までにしておくのがよいと言われております。今年、厄年に当たられる方は、どうぞお越し下さい。

また、**昨年の御札**をまだお持ちの方は、当日焚き上げますのでお持ちください。

植樹祭のご案内

昨年の台風二十三号の被害により、総社宮の木々も殆どが倒れ、また残された木も根が浮き傾いた様な有様でした。氏子総代の迅速な対応により、倒木、及び危険な木々は撤去されましたが、結果として、総社宮には以前の様な高木が無くなってしまいました。

そこで、将来の社叢を築き上げるべく、植樹祭を行い、境内に苗木を植えようと考えております。詳細はまた後日、別紙にてお伝え申し上げますが、是非ご参加下さいます様に、前もつてご連絡いたします。